

# 北見工業大学学報

第 236 号 (2009 年 11 月号)

## 目 次

入 学 式	平成 21 年度秋季大学院入学式举行……………	2
研 究 助 成	科学研究費補助金の申請数……………	3
	平成 21 年度共同研究の受入状況……………	4
	平成 21 年度受託研究の受入状況……………	4
	平成 21 年度奨学寄附金受入状況……………	4
	良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐシステム)採択結果……………	4
	平成 21 年度パワーアカデミー研究助成交付内定……………	4
	人 事	人事異動……………
諸 報	ISO14001 第一回更新審査の承認について……………	6
	安全衛生講習会を開催……………	7
	地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議を 斜里町で開催……………	8
	父母懇談会(秋季・北見、名古屋)を開催……………	9
	消防訓練を実施……………	10
	平成 21 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式……………	11
	健康チェック及び栄養士による栄養相談を実施……………	12
	平成 21 年度大学改革シンポジウムを開催……………	13
	日 誌	10 月・11 月……………

## = 入学式 =

### 平成 21 年度秋季大学院入学式を挙行

(総務課)

平成 21 年度秋季大学院入学式が、10 月 1 日(木)午前 10 時から、本学第 2 会議室で行われました。

学長から、留学生並びに社会人を含む 6 人の入学が許可された後、学長式辞、役職員等の紹介が行われました。

入学者は次のとおりです。

#### 大学院博士前期課程

専攻名	入学者数(人)
情報システム工学専攻	1

#### 大学院博士後期課程

専攻名	入学者数(人)
システム工学専攻	1
物質工学専攻	4



式辞を述べる鮎田学長



入学が許可された 6 人の新入生

= 研究助成 =

## 平成22年度 科学研究費補助金申請件数等一覧(学科等別)

(研究協力課)

平成21年11月末現在

研究種目等	機械工学科		社会環境工学科		電気電子工学科		情報システム工学科		バイオ環境化学科		マテリアル工学科		共通講座		センター等		合計	
	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)	件	金額(千円)
特別推進研究																	0	0
新学術領域研究 (研究領域提案型)(計画)	1	3,500															1	3,500
新学術領域研究 (研究課題提案型)																	0	0
特定領域研究(計画)																	0	0
特定領域研究(公募)																	0	0
基盤研究(S)	1	14,900															1	14,900
基盤研究(A)(一般)			(1)	(3,200)							1	29,500			1	17,700	(1)	(3,200)
基盤研究(A)(海外学術調査)										(1)	(7,300)						(1)	(7,300)
基盤研究(B)(一般)	4	34,012	(3)	(11,300)	1	13,000	1	13,100	(1)	(3,200)	3	25,200			1	12,038	(4)	(14,500)
基盤研究(B)(海外学術調査)			1	7,240													1	7,240
基盤研究(C)(一般)	(3)	(3,000)	(2)	(1,400)	(7)	(5,900)	(2)	(1,600)	(6)	(4,800)	5	14,535	2	1,320	1	1,950	(20)	(16,700)
	9	21,356	5	10,705	7	12,154	11	20,503	7	16,968	5	14,535	2	1,320	1	1,950	47	99,491
挑戦的萌芽研究	(1)	(1,100)	(1)	(700)			(1)	(700)									(3)	(2,500)
	3	7,137	7	18,592	2	5,153	4	8,590	1	3,200	3	8,050	4	7,450	2	4,686	26	62,858
若手研究(S)																	0	0
若手研究(A)			1	20,160	1	17,600	1	3,880									3	41,640
若手研究(B)			(1)	(1,000)			(1)	(700)					(1)	(600)	(2)	(1,500)	(5)	(3,800)
	2	4,515	2	5,600	2	3,050					3	6,219	1	324	2	1,679	12	21,387
計	(4)	(4,100)	(8)	(17,600)	(7)	(5,900)	(4)	(3,000)	(7)	(8,000)	(1)	(7,300)	(1)	(600)	(2)	(1,500)	(34)	(48,000)
	20	85,420	20	89,832	13	50,957	17	46,073	8	20,168	15	83,504	7	9,094	7	38,053	107	423,101

※備考 1. 上段( )内は継続課題数と22年度交付予定額であり、ともに概数

### 平成21年度共同研究の受入状況

平成21年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	メタン直接改質による水素製造に関する研究	北海道ガス(株)
機械工学科	教授	佐々木 正史	温泉廃熱高度利用研究	オホーツク新エネルギー 開発推進機構
機械工学科	教授	羽二生 博之	GPS誘導空撮システムの農牧地管理支援システムへの活用	株式会社ビーシステム
マテリアル工学科	教授	青木 清	液体急冷Nb-TiNi系複相水素透過合金箔を用いた水素精製システムの開発	三菱マテリアル(株) / 岩谷瓦斯(株)
地域共同研究センター	教授	鞆師 守	聴覚補助用スピーカーシステムの開発研究	北見市 / (株)福地工業
国際交流センター	教授	山岸 喬	免疫・癌の個性診断を可能とするレクチン / 抗体複合型診断医薬品の開発	(独) 科学技術振興機構
機械工学科	准教授	林田 和宏	ディーゼル機関の軽負荷燃焼の改善 - 白煙、臭気に関する研究	いすゞ自動車(株)
社会環境工学科	助教	白川 龍生	高機能ナノカーボン添加建設材料の開発	(株)構研エンジニアリング
機械工学科	准教授	鈴木 聡一郎	下肢骨格に適合したスキーブーツのフットベッド設計に関する研究	(有)キャンブダンガリー
情報システム工学科	講師	後藤 文太郎	ICTによる観光・地域情報の活用とオホーツクブランド形成支援	(財)オホーツク地域振興機構
電気電子工学科	准教授	菅原 宣義	碍子の塩分付着特性に関する研究	東北電力(株)

平成21年度累計73件

### 平成21年度受託研究の受入状況

平成21年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
バイオ環境化学科	准教授	三浦 宏一	「函館マリンバイオクラスター ～UMI (Universal Marine Industry) のグリーン・イノベーション～」	財団法人函館地域産業振興財団	750,000
バイオ環境化学科	准教授	三浦 宏一	「保水・凍結遅延機能を有する温泉水(女満別美肌の湯・北見のつけの湯)を用いた新規美容・食製品開発のための化学工学的定量評価 - 温度ダイナミックNMR解析による製品特性評価 -」	株式会社 たいせつ	400,000

平成21年度累計 18件

### 平成21年度奨学寄附金受入状況

平成21年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
技術部	技術員	岡田 包儀	ハンマーによる表面劣化コンクリートの診断精度向上技術の指導のため	日東建設(株)	500,000
社会環境工学科	准教授	永禮 英明	研究テーマ「釧路湿原の地下水水質分布と植生への影響に関する検討」への助成のため	(財)クリタ水・環境科学振興財団	550,000
機械工学科	准教授	渡辺 美知子	機械工学の研究のため	(有)情報総合研究所	100,000
社会環境工学科	准教授	永禮 英明	酪農排水浄化のため	(株)高橋組	500,000
地域共同研究センター	センター長	高橋 修平	オホーツク地域の行政・民間機関との共同研究・研究交流及び技術指導、教育、開発等を推進するため	北見工業大学地域共同研究センター推進協議会	1,680,000
社会環境工学科	准教授	永禮 英明	工学研究のため	(株)開発調査研究所	100,000
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援 (語学研修プログラム参加旅費の助成)	北見工業大学後援会	180,000
機械工学科	教授	尾崎 義治	工学研究に対する助成のため	(有)アルファバグ	600,000
電気電子工学科	准教授	高橋 理音	パワーアカデミー研究助成「萌芽研究」のため	電気事業連合会	1,000,000
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援 (奨学金支給)	北見工業大学後援会	900,000
共通講座	教授	平野 温美	研究助成のため	平野 温美	450,000

平成21年度累計 55件

### 良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ)採択結果

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研究課題	交付金額
電気電子工学科	准教授	武山 真弓	3Dインテグレーションに適用可能なバリヤ材料の低温プロセス化の検討	3,500千円

### 平成21年度パワーアカデミー研究助成採択結果

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研究課題	交付金額
電気電子工学科	准教授	高橋 理音	離島における風力発電を有するマイクログリッド構成法の開発	1,000千円

= 人事 =

## 人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
21.6.30	企画広報課	田畑 潤司	辞職(文部科学省へ転出)
21.9.30	工学部准教授	土橋 善仁	辞職(新潟大学へ転出)
21.10.1	工学部准教授	中谷 久之	工学部教授
"	工学部助教	宮越 勝美	工学部准教授
"	工学部助教	高橋 理音	工学部准教授
"	(新規採用)	ウラ, シヤリフ	工学部准教授
"	(新規採用)	戸澤 隆広	工学部准教授
21.12.1	(新規採用)	梅庭 雄輔	財務課



## ISO14001 第一回更新審査の承認について

(施設課)

9月29日(火)・30日(水)の2日間、国際的な環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の更新審査が実施されました。

審査登録機関から審査員2名が本学を訪れ、審査員と対象部門担当者全員による初回会議の後、学生や教職員が取り組んでいる環境マネジメントシステムの実施状況等について審査が行われました。

審査員からは、幾つかの改善すべき点があるものの「省エネ・省資源化・廃棄物削減等に係わる環境パフォーマンスの着実な向上と環

境意識の定着」、「地域自治体との連携及び公開講座等による情報発信」、「環境保全学生委員会を中心とした学生参加型の環境保全活動」、「各学科で行われている多数の環境関連研究テーマによる環境改善に貢献する学生の育成」といった観点で高い評価をいただきました。

今回ISO14001の認証を受けてから初めての更新審査となりましたが、10月16日付けで環境マネジメントシステムの登録更新が承認されました。



初回会議にて審査員から説明を受ける各担当者

## 安全衛生講習会を開催

(施設課)

10月7日(水)総合研究棟多目的講義室にて、平成21年度秋季安全衛生講習会を開催しました。

本学と医工連携を行っている北見医師会より、医療法人社団拓美会 玉越病院院長 玉越 拓摩 氏を招き、「うつ、心理的ストレスについて」という演題で講演を行い、43人の教職員が参加しました。

うつ病は不眠と不安から引き起こされるものであり、十分な睡眠をとることが大切であること、自殺者の大部分がうつ病にか

かっている治療を受けていない者であり、早めに治療を受けてほしいこと、後半では、うつ病は大人だけがかかるものではなく、近年は学生がうつ病にかかることも多く、家族に対する甘えと反抗の不十分がもたらす不安と緊張により、社会に適応できなくなっていること、粘り強く成長を見守ってくれる人々が必要であることなどのお話があり、教育に携わっている参加者にとっては貴重な話を聞けたとともに、うつ病に対する認識を改めさせられました。



講習会の様子

## 地域共同研究センター

### 産学官連携推進員・協力員合同会議を斜里町で開催

(研究協力課)

10月9日(金)に今年度第1回目となる、地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議が斜里町公民館ゆめホール知床で開催されました。

本会議は、北海道、特にオホーツク地域の経済発展を目指し、周辺自治体・公設試験場・包括連携協定締結機関等の関連部署担当者に「産学官連携推進員・協力員」を委嘱し、産学官連携に関する事項の協議・情報交換会を実施し、地域経済の振興を目的に活動を続けています。

第1回目となる本会議には、自治体から6人、金融機関から3人、公的機関から9人、周辺大学から1人、本学関係者7人の総勢26人の出席がありました。

事前に実施したアンケート調査に基づき各自治体からの要望や提案事項に関して協議し、大学からは研究シーズや知的財産に関するの情報提供を行いました。

今後は、第2回目を12月に雄武町で開催、また年明けには第3回目を北見で開催する予定です。



高橋地域共同研究センター長の挨拶



合同会議の様子



## 父母懇談会（秋季・北見、名古屋）を開催

（学生支援課）

例年開催している「父母懇談会（秋季）」を、北見会場は10月10日（土）本学C122講義室を説明会場として、名古屋会場は11月15日（日）名古屋市内の第二豊田ビル西館を会場として、外国人留学生及び大学院博士後期課程を除く全学生の父母を対象としてそれぞれ実施しました。

北見会場には、全国から80組115人の父母が参加し、まず始めに全体説明会において、鮎田学長から挨拶があった後、田牧副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がありました。また、学生後援会会長からは、当会の活動状況が報告されるなど、様々な情報が父母に提供されました。

また、名古屋会場には、東海地区近郊から

82組107人の父母が参加し、全体説明会において、田牧副学長からの挨拶と説明があった後、個別面談までの待ち時間には、田牧副学長が、父母からの質疑に応答する時間を設け、大学生活の内容や学生をとりまく生活環境に焦点がおかれた質問や、就職や大学院への進学に関する質問など多岐に渡り質疑応答が行われました。

いずれの会場とも、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職等について質問が出され熱心にやりとりが交わされました。



全体説明会の様子（北見）



全体説明会の様子（名古屋）

## 消防訓練を実施

(施設課)

10月21日(水)本学総合研究棟において消防訓練を行いました。総合研究棟6階から出火したという想定で、通報・連絡、初期消火、避難誘導などの訓練を約180人の教職員及び学生が参加し、実施しました。

その後、消火栓を使った放水訓練、消火器の取扱訓練を行いました。寒い中参加者は真剣に訓練に取り組みました。

訓練終了後、北見地区消防組合消防署副署長より講評を受け、その中で古い消火器による破裂事故に触れ、注意を促しました。また学長からの挨拶では、普段から消火設備の位置の確認、避難経路の確保に努めるようお話がありました。



消火器の取り扱い訓練



負傷者の救助

## 平成 21 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式

(企画広報課)

平成 21 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式が 11 月 20 日(金)午後5時から第1会議室において行われました。

表彰式では、鮎田学長から永年勤務者表彰被表彰者に対し、表彰状の授与並びに記念品の贈呈を行い、永年にわたる貢献への感謝

とお祝いの言葉が贈られました。

また、式終了後の記念撮影に引き続き祝賀会が開催され、30 年前の思い出話などで盛り上がる中、午後6時和やかなうち終了しました。

被表彰者は、表のとおりです。(50 音順)

### 北見工業大学永年勤務者表彰

#### 30 年勤務者

氏 名	所 属 学 科 等
今 井 正 人	情報システム工学科
射 水 雄 三	マテリアル工学科
小 野 優 一	財務課
小 俣 雅 嗣	バイオ環境化学科
坂 田 寿	企画広報課
鈴 木 勉	バイオ環境化学科
高 橋 修 平	社会環境工学科
高 橋 信 夫	理事

#### 20 年勤務者

氏 名	所 属 学 科 等
榎 本 浩 之	社会環境工学科
大 森 誠 一	技術部
岡 崎 文 保	バイオ環境化学科
田 牧 純 一	機械工学科



平成 21 年度永年勤務表彰受賞者

## 健康チェック及び栄養士による栄養相談を実施

(学生支援課)

11月25日(水)に、本学と北見工業大学生協同組合との共催で、学生が自身の生活のあり方を振り返り、健康及び食生活に関心を持つきっかけとなるよう「健康チェック及び栄養士による栄養相談」を実施しました。

会場となったコミュニケーションアトリウムには、授業が終わった学生や業務の合間をぬって教職員が訪れ、体重、体脂肪率、骨量、肌水分量等の計測や、飲酒ゴーグルを着用し、酔酩状態の疑似体験を行いました。

昼休みに実施した「簡単レシピの実演紹介」では、普段、なかなか摂取できない野菜の一日摂取量も、鍋やスープにすると簡単に摂取

できることや、炊飯器を使った手軽で簡単なレシピが紹介され、試食をした学生からは「美味しい」との声が上がっていました。

また、会場の一角に設けられた健康相談及び栄養相談コーナーでは、日常生活での食事や体調に関する心配事を相談し、生活改善に向けたアドバイスを受けていました。

今後も、学生が日頃から感じている心身両面の問題について助言が受けられるよう、このような企画を継続実施していく予定です。



健康チェックの様子



簡単レシピ紹介の様子

## 平成 21 年度大学改革シンポジウムを開催

(研究協力課)

11 月 25 日(水)、社団法人国立大学協会の支援を受け、ホテル黒部 樹林の間において「大学改革シンポジウム『地域医療・食と健康』に貢献する広域大学間連携の役割」と題して、シンポジウムを開催しました。

鮎田耕一学長の挨拶の後、第1部ではまず、基調講演として、北見医師会理事 大内 博文氏が「これからの地域医療と大学に期待すること」と題して、地域医療に従事する医師と大学の連携について講演を行いました。

その後、大島 俊之 教授が「救急・災害時の社会システムの役割について」、日本赤十字北海道看護大学 伊藤 善也 教授が「“地域”という視点から考える、子どもの肥満」、山岸 喬教授が「食と健康を考える」と題して講演を行い

ました。

第2部では、文部科学省科学技術振興調整費事業に採択されている本学、帯広畜産大学、東京農業大学の代表者がそれぞれ事業の概要を説明した後、パネルディスカッションでは、コーディネーターの鞘師 守教授の司会進行で、パネリストの高橋教授、関川教授、黒瀧教授が広域大学間連携の必要性や今後の構想について討論しました。

当日は、一般参加者、大学関係者など、多数の参加があり、参加者数は90人となりました。



鮎田学長の挨拶



基調講演



セミナー会場の様子



パネルディスカッション

10 月

- 1 後期授業開始  
秋季入学式
- 9 地域共同研究センター  
産学官連携推進員・協力員合同会議(斜里)
- 10 父母懇談会(北見)
- 13 役員会
- 14 教育研究評議会
- 16 知的財産セミナー  
入学者選抜委員会  
推薦入学者選抜実施委員会
- 19 教務委員会
- 23 道内国立大学事務局長会議



11 月

- 7 第1回合同企業研究セミナー
- 8 第2回合同企業研究セミナー
- 9 役員会
- 11 研究科委員会
- 12 交通安全講習会
- 13 入学者選抜委員会  
推薦入学者選抜実施委員会  
入学試験実施委員会
- 15 父母懇談会(名古屋)
- 18 教育研究評議会
- 20 永年勤務者表彰式  
海外における商標の冒認出願対策セミナー  
学生委員会  
国際交流委員会
- 25 大学改革シンポジウム  
健康チェック及び栄養士による栄養相談
- 28 第3回合同企業研究セミナー
- 29 第4回合同企業研究セミナー
- 30 推薦入試選抜実施委員会  
役員会

